

Soprano, Producer : Ursula Kogure
Piano, Composer, Arrangement : Makoto Kanai
Director : Makoto Kanai
Recording Coordinator : Yoshiaki Nishimura
Engineer : Fumito Nakamura(Freedom St.)
Assistant Engineer : Yosuke Maeda(Freedom St.)
Design : Rika Horie
Jacket Photo : Masamichi Sakuma
Hair&Make-up : Miyuki Tada
Special Thanks : Keiko Asada
Erika Herzog
Yukari Kubota

Recorded at "Freedom St." on March 31 & April 2, 2007

A&U企画
158-0084 東京都世田谷区東玉川1-27-3
TEL / FAX 03-3748-1840
e-mail au-freude@f02.itscom.net

取り扱い上のご注意
○このディスクは両面共、指紋、汚れ、キズなどを付けないように取り扱ってください。
○ディスクが汚れたときは、柔らかな布で内周から外周に向かって放射線状に軽く拭き取ってください。
○ディスクは直接日光のあたるところや高温多湿な場所に保管しないでください。

0707243-701



の歌曲を
年(1909

り難所が
女ローレ
て岩にぶ
を題材に
ました。ジ
ます。日
年(1909
人以上

スキーは
盟総裁
にも比す
良き時代
、大変心
中、日本

でもつくりおき曲は、この「フリーデ」が最も多い曲です。

「フリーデ」は「フリーデ」の代

表的な作品で、“ブラッター公園の春”のタイトルとしても親しまれています。ウィーンの春の訪れは突然で、瞬く間に花が咲き乱れるのです。映画「第三の男」でも有名なブラッター公園の観覧車。その脇の樹の陰にこの歌碑があり、冒頭の4小節がシュトルツの直筆で記されています。

「5. オペレッタ「ジュディッタ」より “熱き口づけ”
「メリーウイドウ」「微笑みの国」などのオペレッタ作曲したレハールの晩年の作品です。南ヨーロッパのある町に住む若きジュディッタは、実はモロッコのダンサーの娘で、母親からエキゾチックな美貌と激しい情熱を受け継いでいます。この歌の中で、彼女はやがて訪れる恋のアドベンチャーを予感するのです。

「6. こんな日を
ピアニスト金井信さんの作曲による、オリジナルミュージカル“シンデレラ”になったいわけじゃない”(1987)からのバラードです。「待っていたわこんな日を／自分の翼で羽ばたく日」で始まるこの歌は、何か人生の節目や転換期などに、新たな一歩を踏み出す勇気が湧いてくるような曲です。優しいシンプルなメロディーに固い決意も感じられる美しい曲です。今回、私の初めてのCDのため、金井信さんが推薦して下さいました一押し曲で、私とても元気を頂きました。

木暮 ウルストラ [ソプラノ]

Ursula Kogure (soprano)

ドイツ人の父と日本人声楽家の母のもと、東京・銀座に生まれ、幼いころより母から、うたやピアノの手ほどきを受ける。東邦音楽大学声楽科を卒業後、日本オペレッタ協会の主催する多くのオペレッタに出演。「ルクセンブルク伯爵」「伯爵家令嬢マリツァ」「微笑みの国」等で好演。その他ヨーロッパの音楽を中心に数多くのイベントコンサートに出演。彼女の明るくパワーのあるステージは、多くの人たちに元気をあたえている。又、在学中よりピアニストの叔母と共に、今はない、銀座「彩」にてライブコンサート活動を20年間行い、幅広いジャンルにわたる誠実な歌と表現は、多くのファンを魅了し続けた。中でも、オペレッタやヴァーナーリートを得意なパートリーとし、何千回と歌っている曲も多く、またその要望も多い。

2001年には「日本におけるイタリア人コンサート」にも出演。2004年より久家道子氏主催ブチボン花と朝顔展「ウイナーコンサート」を東京、仙台、横浜、他各地で展開中。又、童謡唱歌を後世に伝える「赤とんぼの会」「金沢赤とんぼの会」にても積極的に活動。日唄文化協会「みんなで歌おう会」、JOHANN STRAUSS朗吟会「晩餐舞踏会」など司会者としても活動。現在、コンサートやライブ活動、青梅慶友病院をはじめ、病院、福祉施設にてもコンサートを行う。ヴァーナーリートを広める活動も積極的にを行い、日唄文化協会「ヴァーナーリートの会」にて歌唱指導も行う。2007年夏にはCD「Freude」(フロイデ・よろこび)をリリース。

声楽を鈴木弘子、渡辺高之助、清水明子、浅田啓子の各氏に師事。
日唄文化協会(日本オーストリア文化協会)、音楽アドバイザー、東洋英和女学院大学人間科学部講師。

金井 信 [ピアノ・作曲・編曲] Makoto Kanai(piano & composer & arrangement)

慶應義塾大学文学部哲学科(美学・美術史学専攻)、東京藝術大学声楽科、尚美高等音楽学院作曲科卒業。長年、編曲者・伴奏者としてネステレンコ、オブラストヴォ、佐藤しのぶ、錦織 健、眞理ヨシ子、五郎部俊朗、安奈淳、初風諒、渡辺真知子、梅原司平、柳澤姉妹等のサポートをしてきたが、近年はソロピアニストとしてもアレンジ力を活かしたポピュラーの分野で精力的に活動している。作曲では約20本のミュージカル(代表作の「あした天使になあれ」はNHKで衛星放送され、ニューヨーク及び上海公演も果たした)、女声合唱組曲「ノクターンの恋人たち」、「愛・めぐり逢い」、「愛の風景」、「愛は彼の彼方に」(音楽之友社)等多数、その多彩なテクニックと歌心あふれるハイセンスなサポートは、あらゆるジャンルの音楽家から絶大な信頼を得ている。映画音楽等を集めたピアノ・ソロCD「By Myself」「Naturally」「Delicious」「With You」発表中。

01.ただ一度だけ [2'33"]
映画「会議は踊る」より
Das gibt's nur einmal ~"Der Kongreß tanzt"
作詞:Robert Gilbert／作曲:Werner Richard Heymann

02.新しい酒の歌(新酒の歌) [2'31"]
映画「会議は踊る」より
Das muß ein Stück vom Himmel sein ~"Der Kongreß tanzt"
作詞:Robert Gilbert／作曲:Werner Richard Heymann

03.リリー・マルレーン [3'20"]
Lili Marleen
作詞:Hans Leip／作曲:Norbert Schultze

04.小さな喫茶店 [2'11"]
In einer Kleinen Konditorei
作詞:Ernst Neubach／作曲:Fred Raymond
訳詞:青木 爽

05.カチューシャの唄 [2'59"]
作詞:島村抱月、相馬御風／作曲:中山晋平

06.浜千鳥 [2'25"]
作詞:鹿島鳴秋／作曲:弘田龍太郎

07.赤とんぼ [3'07"]
作詞:三木露風／作曲:山田耕筰

08.花言葉の唄 [2'31"]
作詞:西條八十／作曲:池田不二男

09.心の瞳 [5'21"]
作詞:荒木とよひさ／作曲:三木たかし

10.千の風になって [4'30"]
日本語詩:新井 満／原作詞(英語)者:不明／作曲:新井 満

11.ウェルナーの野ばら [2'18"]
Heidenröslein
作詞:J. W. von Goethe／作曲:Heinich Werner
訳詞:近藤朔風

12.ローレライ [2'09"]
Die Lorelei
作詞:Heinrich Heine／作曲:Friedrich Silcher
訳詞:近藤朔風

13.ウィーン わが夢のまち [4'45"]
Wein, du Stadt meiner Träume
作詞:Rudolf Sieczyński／作曲:Rudolf Sieczyński
訳詞:あらかは・ひろし

14.ブラッター公園は花ざかり [2'28"]
Im Prater blüh'n wieder die Bäume
作詞:Kurt Robitschek／作曲:Robert Stolz

15.熱きくちづけ [4'29"]
オペレッタ「ジュディッタ」より
Meine Lippen, sie küssen so heiß
作詞:Paul Knepler, Fritz Löhner／作曲:Franz Lehár

16.こんな日を [2'53"]
作詞:藤本 洋／作曲:金井 信



みなさん、こんにちは! ゲーテン ターク!
木暮ウルストラです。
この度、CD「Freude」(フロイデ・よろこび〜)をリリースしました。タイトル通り、喜びで一杯です。

ドイツ人エンジニアの父と日本人声楽家の母、そして、ピアニスト、ヴァイオリニストの叔母達とともに、いつも音楽が満ち溢れている環境の中で、幼い頃から親しんできた歌、また今まで歌い続けてきた私にとって数々の大切な歌の中から、親しみ易いポピュラーな曲目を「Freude」に集めました。
中でも、映画「会議は踊る」の主題歌、“ただ一度だけ”(Das gibt's nur einmal)は5,000回以上は歌ってきた大好きな曲です。また、日本の歌からは、大正・昭和・平成の時代とともに移り変わって来た音楽の味わいも、どうぞ感じて下さい。
元気一杯、嬉しさ一杯で歌った歌声が、ひとりでも多くの皆様心に届くことができましたら、それこそこれが本当の「Freude」です。
CD制作にあたり多くの方々にお世話になりました。心からの御礼と感謝を申し上げます。
最後に幼い頃より遠くから見守ってくれている父と母、そして両親亡き後私を育ててくれた叔母に、心からの愛と「Freude」を捧げます。

木暮ウルストラ
2007年8月8日

